

学校だより

9月号

やさしい子 たくましい子 考える子



黒門

発行日 令和7年9月1日
発行者 台東区立黒門小学校
校長 飯塚 雅之

実りの2学期

副校長 松崎かおり

長かった夏休みも終わり、いよいよ2学期が始まりました。学校に子供たちの元気な声が戻ってきて、教職員一同、とても嬉しく思っています。

今年の夏も、厳しい暑さが続きましたが子供たちはそれぞれの場所で充実した時間を過ごしたと思います。旅行に出かけたり、地域の夏祭りに参加したり、プールや川や海で泳いだりと様々な思い出を作ることができたのではないのでしょうか。また、読書や自由研究など、自分の興味を深める活動に熱心に取り組んだと話してくれた子もいました。

夏休み中に、4年生は「館山臨海学園」に行きました。4年生にとって初めての宿泊学習でしたが、友達と協力しながら集団生活のルールを守り生活することができました。また、水泳インストラクターの先生方に、海での安全な泳ぎ方を教わりながら楽しんで参加する姿が多く見られました。日焼けした子供たちの表情からは、よい経験をしたことを感じさせる頼もしさを感じました。



6年生は8月初旬に「日光林間学園」に行きました。天候が心配でしたが、6年生の熱気が伝わったのか、戦場ヶ原をハイキングするときに小雨が降られた以外は、天候に恵まれました。長い距離を歩いたハイキングでは、すれ違うハイカーの方々に、笑顔で挨拶を交わす姿が見られました。



また、友達に「あと少しだよ！」「あそこまで頑張ればお昼ご飯だよ！」と相手を気遣う素敵な言葉がたくさん聞かれ、引率した教員達も癒されたようでした。

さて、いよいよ2学期が始まりました。2学期は「実りの学期」とも呼ばれています。学習面においても生活面においても、様々な力を身に付けていく大切な時期です。10月には生活科・総合的な学習の時間の研究発表会、11月には学芸会、12月には黒門小学校115周年記念式典が予定されています。友達と協力して目標を成し遂げる経験や、努力が形となって実を結ぶ喜びを感じることができる場面がたくさんあります。時には、思い通り結果が伴わない場面もあるかと思いますが、様々な経験を通して、自分自身を見つめ直したり、友達の心に寄り添ったりすることができるよう成長していくことに繋がります。

この時期は、子供たちが自分の成長を実感できる絶好のチャンスです。1学期に学んだ基礎をもとにして、より深く理解したり、自分の考えを表現したりする力が求められてきます。友達との関係も少しずつ変化し、協力することの大切さや自分とは違う考え方を受け止める力も育っていきます。

保護者皆様には、これからも温かいまなざしで子供たちの成長を見守っていただければと思います。そして、学校とご家庭、地域が手を取り合って子供たちを支えていくことで、安心して学べる環境を作っていきたいと考えています。2学期もどうぞ宜しくお願いいたします。